

■展覧会案内

特別展 「発掘された日本列島2015」 展

会期：平成28年1月14日(木)～2月28日(日) 会場：いわて文化史展示室

全国では、毎年8,000件近い発掘調査が行われています。遺跡の発掘調査現場では日々新たな発見があり、稀に歴史的発見の瞬間が訪れることもあります。

文化庁は、全国的に注目された発掘調査の成果をより多くの方々にできるだけ早くご覧いただくことを目的とし、平成7年度から「発掘された日本列島」展を実施しています。「発掘された日本列島」展は、毎年全国各地を巡回展示しており、当館では平成10年に「発掘された日本列島1998」展を開催しました。今回当館に巡回するのは、実に17年ぶりのことです。

本展覧会は、新発見考古速報として旧石器時代から近代までの全国19遺跡の速報展示と、平成23年度から継続している「東日本大震災の復興事業に伴う発掘調査成果」に加え、全国史跡整備市町村協議会50周年記念展示を行います。

■新発見考古速報

【旧石器時代】

長崎県佐世保市史跡福井洞窟から出土した、旧石器時代から縄文時代へ移行変わる時期の資料群を展示します。福井洞窟の発掘調査では深さ5.5m・15層に分層できる地層の堆積が確認され、旧石器時代から縄文時代の初めにかけて約6,000年間にわたる生活の痕跡が見つかりました。発見されたのは、カミソリの刃のような細石刃などの石器4万点、縄文時代最初期の土器約200点のほか、旧石器時代の炉跡です。洞窟遺跡で旧石器時代の炉跡が見つかったのは、国内初の発見です。

【縄文時代】

富山県小竹貝塚、岩手県けや木の平団地遺跡、宮城県北小松遺跡出土品を展示します。

岩手県からは、滝沢市けや木の平団地遺跡出土人体文付土器が出品されています。けや木の平団地遺跡は約4,000年前の遺跡で、人体文付土器は墓跡群の近くで見つかりました。人体文が描かれる土器は稀であること、そして墓域から出土したことから、祭祀に用いられた特別な道具の可能性が考えられています。



人体文付土器
岩手県けや木の平団地遺跡

【弥生時代】

大阪府東奈良遺跡、福岡県高三瀨遺跡、静岡県松東遺跡出土品を展示します。



小銅鐸 福岡県高三瀨遺跡

弥生時代の3遺跡はいずれも銅鐸を中心に展示します。地域毎の銅鐸祭祀の違いをご覧ください。

【古墳時代】

滋賀県中沢遺跡、岡山県上相遺跡・鍛冶屋途古墳群、栃木県甲塚古墳出土品を展示します。

注目は甲塚古墳出土の埴輪です。国内初の発見となる、布を織る様子を表した機織形埴輪2点のほか、人物埴輪・馬形埴輪を展示します。会場では、古墳後円部をイメージした弧形展示台にこれらの埴輪を並べます。特別な埴輪を裏側までご覧いただける、またとない機会です。



機織形埴輪 栃木県甲塚古墳

【古代】

茨城県瓦塚窯跡、福岡県大宰府関連遺跡群、千葉県上谷遺跡、秋田県史跡大鳥井山遺跡出土品を展示します。



越州窯系青磁(唾壺)
大宰府関連遺跡群堀池遺跡

大宰府関連遺跡群は日本を代表する古代都市遺跡です。大宰府は大宝律令(701年)によって確立した古代地方官衛(役所)跡で、その南側には条坊制により整然と区画された町が作られています。近年、条坊制の南外にある堀池遺跡で平安時代前期の墓が見つかり、唾壺が出土しました。越州窯系青磁の唾壺が完全な形で出土したのは、国内初です。

【中世】

宮城県瑞巖寺境内遺跡、福井県越前窯跡群、愛知県史跡小牧山、京都府大雲院跡出土品などを展示します。

京都府大雲院跡から、関白豊臣秀次を弔う供養塔が出土しました。秀次は秀吉の養子となって関白太政大臣に就任したものの、秀吉に実子秀頼が誕生すると謀反の疑いをかけられ高野山へ出家させられます。秀次は、その後秀吉との和解を試みるもかなわず、秀吉の命により高野



豊臣秀次供養塔 京都府大雲院跡

山で切腹し、非業の死を遂げました。

【近代】

茨城県シャトーカミヤ旧醸造場施設出土品を展示します。シャトーカミヤ旧醸造場施設は、実業家の神谷傳兵衛が日本初の本格的ワイナリーの創設を目指し、明治36年に竣工した煉瓦造りの建造物です。多数の耐火煉瓦や明治14年に発売された未開封のワインが出土しました。134年を経たワインは、一体どのような味わいなのでしょう。

■特集Ⅰ 復興のための文化力 - 東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護 -

東日本大震災からもうすぐ5年目を迎えるようとしています。岩手県・宮城県・福島県では復興事業に伴う発掘調査が急ピッチで続けられています。

岩手県内の復興発掘調査の成果は『海に生きた歴史』展で詳しく紹介しますが、列島展では福島県東町遺跡・天神原遺跡・天化沢A遺跡、宮城県熊の作遺跡・高大瀬遺跡、岩手県西平内I遺跡・平清水III遺跡出土品を展示します。



蕨手刀 野田村平清水III遺跡

野田村平清水III遺跡は奈良・平安時代の大規模な古代集落跡で、集落内の土坑墓からはほぼ完全な状態の蕨手刀が出土しました。蕨手刀は長さ62.6cmで、鞘や青銅製の金具が良好な状態で残っていました。製造年代は飛鳥時代末～奈良時代前半と推定されています。

■特集Ⅱ 全史協50年のあゆみー全国史跡整備市町村協議会50周年ー

全国史跡整備市町村協議会とは、史跡・名勝などの文化財を保存し、整備・活用していくことを目的として発足した市町村の団体です。協議会が行ってきた50年間の活動を紹介します。また、福岡県ウトグチ瓦窯跡、島根県史跡益田氏城館跡出土品、史跡復元模型を展示します。

『発掘された日本列島2015』展は、国内最大級の考古学発掘調査成果速報展です。今回出品される資料の中に、将来的に国宝や国の重要文化財に指定されるものがあるかもしれません。また、当館が東北地方では唯一の会場で、巡回最後の会場です。この機会に、皆様の目で私達の国の歴史を確かめてください。

(学芸第二課 専門学芸員 八木勝枝)

※『発掘された日本列島2015』展は特別入館料が必要です。

一般600円(400円) 学生400円(300円) 小学生以上高校生以下200円(100円) ()内20人以上の団体料金
特別入館料で常設展もご覧いただけます。

【関連事業】※『海に生きた歴史～復興発掘調査が語る一万年の海との共生～』展と共通

■展示解説会 ※『発掘された日本列島2015』展会場は要特別入館料、『海に生きた歴史』展会場は要通常入館料

①1月23日(土) ②2月13日(土) ③2月27日(土) 各14:30～15:30

■講座 ●記念講演会 2月28日(日) 13:30～15:00 当日受付 聴講無料

水ノ江和同氏(文化庁文化財調査官)「東日本大震災と埋蔵文化財ー「発掘された日本列島2015」展を中心にー」

●県博日曜講座 13:30～15:00 当日受付 聴講無料

1月24日(日) 八木勝枝(当館学芸員)「海に生きた歴史①ー縄文・弥生ー」

2月14日(日) 羽柴直人(当館学芸員)「海に生きた歴史②ー古代～近代ー」